

SHINSHU 通信

CONTENTS

- 01 ■ 担当理事あいさつ ■ 男女共同参画推進センター長あいさつ ■ 新委員紹介
02 ■ 男女共同参画推進センター取組紹介 03 ■ 一般事業主行動計画
04 ■ NEWS&TOPICS ■ おひさま保育園 NEWS ■ 子育てコラムリレー

2019年度も男女共同参画推進センターを よろしくお願ひします。

担当理事あいさつ



理事(経営企画、総務、財務、
環境施設、情報) / 副学長
(特命戦略(大学院)担当)
たけだ みつお
武田 三男

この4月から、理事として男女共同参画を担当することになりました。ご存知のように男女共同参画推進センターでは、「意識啓発部門」、「女性研究者等支援部門」、並びに「ワークライフバランス推進部門」を中心に本学の全構成員が個性と能力を十分に発揮できる職場・教育環境の実現を目指して活発に活動しています。小職は、センター運営委員会のメンバーとしても総務担当理事という立場から参画させていただきます。

5月の第1回運営委員会では新任委員全員のメンター資格取得が決まりました。そこで、センターがeALPS上で開講している「メンタリング研修会」を受講しました。メンティは若手の女性研究者が多いと予想されることから、男性のシニアのメンターは需要がないのではと考えていました。ところが、受講した研修会は3回とも大変有意義なお話が多く、小職にもお役に立てることもあるのではないかと考えを改めました。仕事と介護の両立などシニアのメンターにもご相談にのれる課題もありそうです。学系長にもメンターを取得されることを強く勧めたいと思います。

総務担当理事としては、職場の環境作りが最も重要な課題と考えています。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

センター長あいさつ



男女共同参画
推進センター長
(学術研究院理学系准教授
/ 学長補佐)
なかしま みほ
中島 美帆

高校生の私は初めてコンピューターに触れ、今からはこれがテレビのように身近な存在になるのだろう、と感じました。あれから30年! 皆がスマートフォンを持っている光景はそんな予想をはるかに超えています。大学では、女性が少なく女性教官は1人もいない学科で学びましたが、これは一時的なもので少し待てば多くの同性に出会えるだろう、と悠々としていました。あれから25年! 学生から教員になっても周りの男女比は当時と変わりません。

当センターが主催し開講している共通教育科目「人生100年時代のキャリアビジョン」は、男女共同参画を軸とした多くのテーマを取り扱い、社会の現状と問題点を理解した上で自身の生き方や働き方について考えてもらうことがねらいです。30年後、この受講生たちが令和元年の大学を振り返り、何を思うことになるのか、私自身の楽観は失ってしまいましたが、少なくとも次の世代に希望を伝えることが使命だと考えています。そのためにも、これまでセンターが取り組んできた女性研究者等支援、意識啓発、ワークライフバランス推進の実績をベースに、さらなる進化を目指し努力を続けていきますので、皆様のご協力をお願いいたします。

男女共同参画推進センター運営委員会 新メンバーのご紹介

2019年4月より、7名の教職員が新たに委員として加わりました。どうぞよろしくお願ひいたします。



男女共同参画推進
SHINSHU UNIVERSITY

学術研究院人文科学系准教授
学術研究院繊維学系准教授
医学部附属病院内科助教(診療)
農学部総務グループ主査

三谷 尚澄
金 晃屋
仁科 さやか
尾坂 隆男

学術研究院理学系教授
学術研究院総合人間科学系准教授
経法学部総務グループ主査
高橋 耕一
安達 弘通
北村 昭信

男女共同参画推進センター 取組紹介

男女共同参画推進センターでは、教職員の皆様がより働きやすい職場環境を整えるため、様々な支援制度を導入しています。今回はその取組の一部をご紹介します。



研究補助者制度

本学の研究者が、研究と育児・介護等のライフイベントが両立できるよう支援するため、月30時間を上限として大学院生等を研究補助者として配置する制度です。研究補助者の雇用にかかる経費は当センターが負担します。研究者の費用負担はありません。

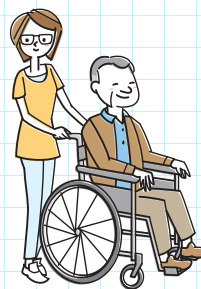
利用対象者

本学に在職する1週間当たりの勤務時間が38時間45分以上の研究者（単身の研究者、またはフルタイム勤務相当の配偶者を有する研究者）で、出産・育児・介護等と研究の両立が困難な状況であり、以下に掲げるいずれかの項目を満たしている方。

- (1) 妊娠中の方
- (2) 小学校3年生までの子と同居し、主に養育している方
- (3) 市町村から要介護の認定を受けている親族と同居し、主に介護している方
- (4) その他、上記に準ずる理由がある方

利用時間・補助者の業務内容

月30時間を上限とし、実験補助、調査補助、データ分析、学会資料や報告書類の作成など。



学生にもメリット！

補助者に本学の学生や大学院生を採用することで、学生のキャリアパスにもつながります。また、補助者には給与（時給制）が支給されます。

制度利用による成果（アンケートより抜粋）

<利用者（研究者）>

- ・子どもと過ごす時間を確保しつつ、学会発表や論文発表も進められた。
- ・論文が出せず、研究費の獲得もできなかった出産・育児中の数年間が信じられないほど、論文数や科研費獲得実績が回復した。

<研究補助者（学生）>

- ・研究の大まかな流れやそれに伴う苦労や必要なことを経験することができた。また、そこで経験したことを自身の経験（研究計画書の作成など）に生かすことができた。

募集期間

この制度は4-9月と10-3月の2期に分けて募集を行っています。2019年度4-9月期の募集はすでに終了していますが、急遽介護が必要になった場合など突発的な事態が生じた場合は柔軟に対応していますので、ご相談ください。10-3月期の募集は7月中旬頃を予定しています。学内通知のほか、当センターのウェブサイトにも掲載します。

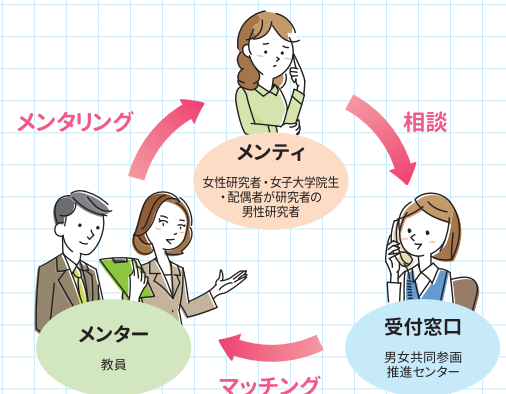
2019年度(4-9月期)研究補助者制度利用者決定

審査の結果、利用者13名(女性12名、男性1名)を決定しました。

メンタリング

若手女性研究者（女子大学院生等も含む）や配偶者に研究者をもつ男性研究者を対象に、研究生活を継続していく上で戸惑いを感じたり、ライフステージの変化に不安を感じたときなどに相談にのってもらえるメンタリング制度を設けています。人生や研究の先輩研究者がメンターとして相談者の課題解決を支援し、キャリア発達を支えます。

相談の予約は電話、メール、またはホームページからも行っています。お気軽にご連絡ください。 <http://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/mentoring/>



相談受付窓口

男女共同参画推進センター

TEL : 0263-37-3150 Mail : sufre@shinshu-u.ac.jp

男女共同参画講義

■ 共通教育「人生100年時代のキャリアビジョン」が開講

平成28年度から開講している当センター運営委員会主催の講義も4年目となりました。今年度は35名の学生が登録し、オムニバス形式で様々な分野の先生が「ジェンダー」「ワーク・ライフ・バランス」などのテーマで講義を行っています。

2019年度
男女共同参画
授業担当



日程	概要	担当教員	所属
4/10	講義概要	中島 美帆 関 利恵子	理学部 経法学部
4/17	芸術表現の身体一多様なコミュニケーションの交錯地点	北村 明子	人文学部
4/24	ワークライフバランス	間宮 敬子	医学部附属病院
5/ 8	平等とは何か、人権とは何か	加藤 善子	高等教育研究センター
5/15	男女格差の構造	加藤 善子	高等教育研究センター
5/22	男女雇用機会均等法と社会保障制度における女性の地位	島村 暁代	経法学部
5/29	セクシュアルマイノリティ／LGBTとダイバーシティ	星野 慎二氏	特定非営利活動法人 SHIP 理事長
6/ 5	ワークライフバランスと女性管理職登用	岩田 一哲	経法学部
6/12	女性管理職のストレス	岩田 一哲	経法学部
6/19	文系・理系とジェンダー	中島 美帆	理学部
6/26	作業ではなく仕事をするための働き方改革	石井 宏宗氏	サンシングループ代表
7/ 3	男性と育児	坂口 けさみ	信州大学特任教授／名誉教授
7/10	料理とジェンダー	高崎 禎子	教育学部
7/17	未来の家族を考える	香山 瑞恵	工学部
7/24	講義総括	中島 美帆 関 利恵子	理学部 経法学部

このうち、2019年度は2回の講義が一般公開されています。5月29日（水）には特定非営利活動法人SHIP 理事長の星野慎二氏を講師にお迎えし、セクシュアルマイノリティを取り巻く現状や、教育や公共サービスにおける課題等をお話いただきました。当日は64名の参加があり、受講者からは「セクシュアルマイノリティの苦悩や置かれている状況について知ることができた」、「将来教師を目指しているので子どもの抱える悩みについて聞いて良かった」などの声が聞かれました。



女性の
活躍推進に
向けた



6月26日(水)

「作業ではなく仕事をするための働き方改革」

参加者
募集

時間：16：20～17：50

場所：全学教育機構南校舎4階 42番教室

長年にわたって健康経営を続けているサンシングループ代表の石井宏宗氏を講師にお迎えし、サンシングループで導入している男女問わず画期的な働き方改革の事例等をお話いただきます。事前申込不要となっておりますので、ぜひ会場にお越しください。

信州大学の目標と取組(第2期)を策定しました！

信州大学では「女性の職業生活における活躍に関する法律」に基づき、女性教職員の在職比率を高め、女性が活躍できる雇用環境の整備を行うため、次のように一般事業主行動計画を策定しました。

計画期間

2019年4月1日～2022年3月31日

本学の課題

- (1) 常勤教員に占める女性教員が少ない。
- (2) 自然科学系の女性教員の比率が特に低い。
- (3) 女性教職員の管理職割合が低い。

本学の目標

目標1 採用した常勤教員に占める女性教員の割合を20%以上にする。

目標2 女性教職員の管理職比率を10%以上にする。

国立大学法人信州大学 女性の活躍に関する情報公表

女性活躍推進法に基づき、以下の情報を公表いたします。

● 採用した常勤教員に占める女性の割合（平成30年度実績）

男性	女性	総計	女性割合
67人	20人	87人	23.0%

● 管理職に占める女性の割合（平成31年4月1日時点）

管理職人数	うち女性管理職数	女性比率
123人	14人	11.4%

● 役員に占める女性の割合（平成31年4月1日時点）

役員人数	うち女性役員数	女性比率
8人	2人	25.0%

介護に関する勉強会を開催しました

3月25日(月)、松本キャンパスにおいて「介護に関する勉強会」を開催しました。講師には松本市役所高齢福祉課から三井正勝氏をお迎えしました。当日は18名の教職員が参加し、介護保険制度の仕組みと利用方法や、高齢者のための福祉サービス等をお話しいただきました。参加者の多くは介護未経験ではあるが、将来主たる介護者になる可能性があるという人が多く、「介護サービスの全体像を把握できた」などの声がありました。今後要望があれば隔地キャンパスでも介護に関する勉強会を実施いたしますので、当センターまでお知らせください。



イクボス宣言を更新しました。

4月1日の人事異動に伴い、13名のイクボス宣言を更新しました。あなたの上司や仲間がどんな宣言をしたのか、ぜひこの機会にご覧ください。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/danjo/iku-boss/index.html>

おひさま保育園 NEWS

2019年4月、おひさま保育園に0歳から3歳までの49名のお友達が入园しました。これまで1日の大半をお母さんやお父さんと過ごしてきた子どもたちにとって、初めての保育園は未知の世界です。4月の入园当初は保育園に着くと泣き出してしまってお友達もたくさんいました。入园から2ヶ月経過した今、子どもたちも少しずつ慣れてきた様子で、たくさんのお友達の笑い声が聞こえるようになりました。おひさま保育園では来年度以降の入园予約を随時受け付けています。妊娠がわかった段階で予約できます。まずはお電話にてお問い合わせください。

おひさま保育園 担当：園長 0263-37-2828



このコラムは、本学で子育てをしながらお仕事されている教職員の方に、日頃の育児の様子をご紹介いただくコーナーです。

※前号で予告した執筆者と変更になりました。

我が家は、私、妻、小学校1年生になった双子の息子の4人暮らしです。今年の8月には新しい家族が増え、5人家族になる予定です。息子たちが生まれたときには育児休業を2ヶ月取らせていただきましたが、その間の記憶がほとんどありません。当時の育児日記によると1日の生活は、ひたすらに授乳とオムツ替えを2人分繰り返していたようです。泣いたらミルクをあげ、1人終わると次の子が泣きを繰り返し、なかなか寝ることができず、余裕もありませんでした。今回新しい家族が増えるので、もう1度育児のチャンスがもたらえと思い楽しみにしています。



私の1日は、息子たちや近所の同級生たちの集団登校に混ぜてもらっての出勤から始まります。学校までの距離は短いですが、みんなが学校のことをいろいろ教えてくれて勉強になります。仕事を終え帰宅後は、

清滝 洋平 主査心得 | 総務部人事課人材育成グループ



家族構成

妻・長男(6歳)・次男(6歳)

あなたのリラックス方法は？

子どもたちと知らない場所を散歩すること

子どもたちの宿題を手伝ったり、最近我が家で流行っているパパ抜きを、夕食の時間まで延々と3人で楽しんでいます。夕食後のお風呂と寝かしつけは私の担当なので、寝前の読み聞かせを終えると1日が終了します。仕事の都合で帰りが遅くなると子どもたちから不満をぶつけられるので、仕事の時間は集中し、決められた時間で与えられた業務を終えることを意識しています。



忙しい時期に休みを取らせてもらい、職場の方々にたくさん助けをいただき、感謝しています。これからは、助ける側にまわれるよう努力していこうと思っています。

次回はこの方！

鈴木 真依子先生
医学部附属病院 麻酔科蘇生科医員

お問い合わせ
信州大学 男女共同参画推進センター (SuFRE)

〒390-8621 松本市旭 3-1-1
内線 811-2150, 811-2140
TEL 0263-37-3150 FAX 0263-37-3314
mail sufre@shinshu-u.ac.jp

教育学部分室
〒380-8544
長野市西長野 6-口
内線 831-4018

工学部分室
〒380-8533
長野市若里 4-1-17
内線 821-5693

農学部分室
〒399-4598
上伊那郡南箕輪村 8304
内線 851-3120

繊維学部分室
〒386-8567
上田市常田 3-15-1
内線 841-5031

信州大学 スフレ

検索

